

直観は過たない

直観は過たない。  
過つのは判断である。

この言葉は、勝負ごとの世界において、  
しばしば語られる格言です。

そして、この言葉の真実は、  
プロフェッショナルの世界においても、  
熟練の人々が、  
いつも経験的に感じていることでしょう。

難しい意思決定を前にして、  
最初にピンと感じる直観がある。

それは、「ノー」という答えを教えているのだが、  
色々と情報を集め、分析し、検討していくと、  
答えは逆のように感じられてくる。

そこで、「イエス」と判断し、その方向に進むと、  
結果は、裏目に出る。

そうした失敗の経験を持つ人々は、  
決して、少なくないでしょう。

直観は過たない。  
過つのは判断である。

この言葉は真実です。

しかし、この言葉が、  
プロフェッショナルの口から  
明確に語られることはありません。

なぜならば、  
現在の社会において、  
この言葉を語ることは、  
無用の誤解を生むからです。

それゆえ、この言葉は、  
いつも、人々の胸中深く収められ、  
公に語られることはありません。

しかし、今日も、この言葉の真実が、  
熟練のプロフェッショナルにとって、  
密かな意思決定の指針となっているのです。